

週間漁海況情報—第38号

平成23年9月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

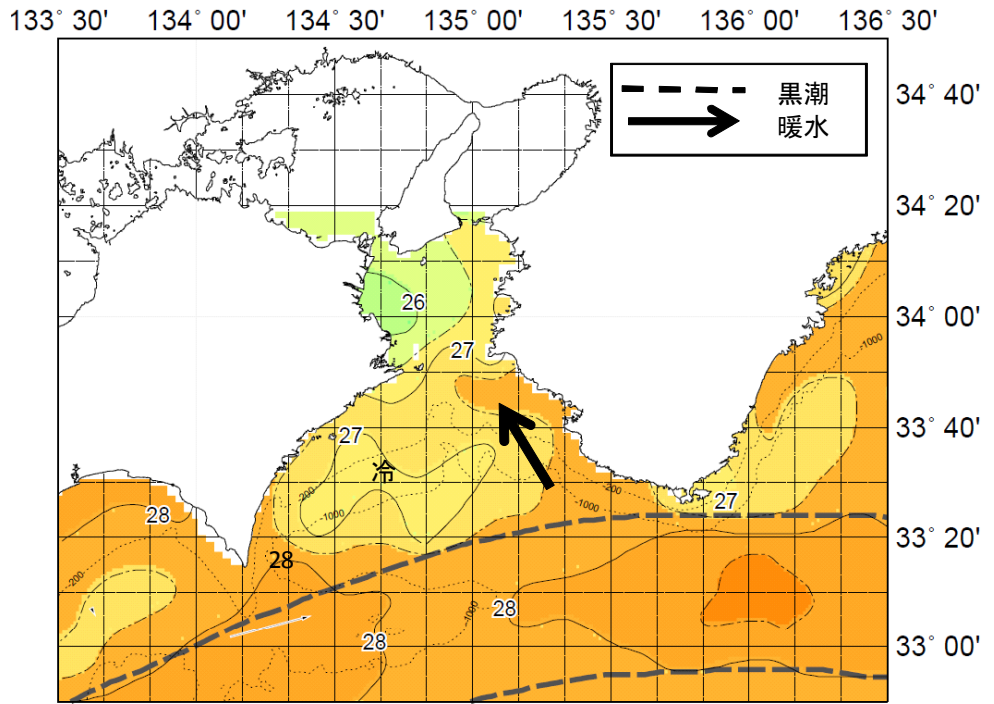
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.9.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26℃台、紀伊水道で25～27℃台、海部沿岸で26～27℃台である。

紀伊水道では、16日まで黒潮系暖水の波及を受けていたが、現在は河川水の流出等の影響から27℃以下の内海系水に広く覆われている。この内海系水は、紀伊水道外域まで広範囲に南下し、紀伊水道外域中央部で26℃台の冷水塊がみられる。黒潮系暖水は和歌山県及び海部下灘の岸寄りのみで確認できる。

漁業調査船「とくしま」が9月8、9及び13日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～10m層で「平年並み」～「やや高め」の26.2～26.7℃で、20～50m層で「やや高め」～「高め」の25.1～26.4℃であった。



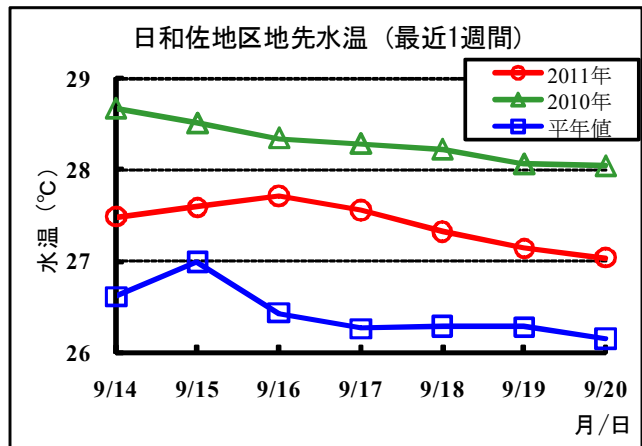
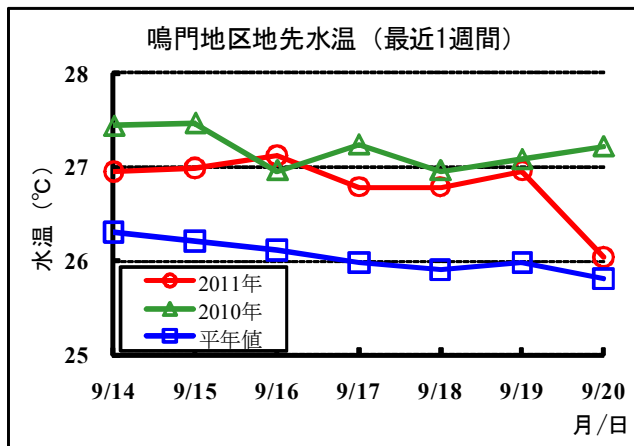
紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
9/8, 9, 13	今年値	26.7	26.2	26.4	26.4	25.1	30.6	31.9	32.8	33.3	34.0
	平年偏差	0.5	0.4	0.8	1.2	2.3	-1.2	-0.7	-0.2	-0.1	0.0
	前年偏差	-1.1	-1.3	-1.2	-0.5	1.2	-1.5	-0.6	-0.1	0.2	0.0

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の26.0～27.1℃、日和佐地区で「やや高め」の27.0～27.7℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の27.6～28.3℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でカワハギが0.4トン（1日1隻当たり52kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でアオリイカが0.2トン（同16kg）、中主体にゴマサバが3.7トン（同153kg）、ヤマトカマスが0.9トン（同27kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で特大・大主体にタチウオが0.3トン（同12kg）、紀伊水道で中主体にサワラが0.5トン（同28kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが4.6トン（同75kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 9月12日～9月18日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	7	365	52	
小型定置網		アオリイカ	13	214	16	
		ゴマサバ	24	3,682	153	中主体
		ヤマトカマス	32	852	27	
釣り	紀伊水道	タチウオ	24	278	12	特大・大主体
		サワラ	18	501	28	中主体
パッチ網		シラス	61	4,575	75	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の25℃台、日和佐地先は「やや高め」の26℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年9月13日～9月19日の海部沿岸では、延縄で大主体にイトヨリ類が0.3トン、小型定置網でカタクチイワシが0.8トン、小小主体にカマス類が1.4トン、ゴマサバが0.2トン水揚げされた。紀伊水道では、釣りで中主体にサワラが6.9トン、中主体にタチウオが0.5トン、パッチ網でシラスが12.8トン水揚げされていた。